



西日本選手権予選 | 競技要項 第4項の詳解

西日本選手権予選大会 競技要項第4項については、下表のとおり行う。

	試合成立	正式試合	コールド	時間制	延長戦	タイブレイク	抽選決着
全ての試合	5回	7回	あり 4回10点差 5回7点差	あり (2時間)	なし	あり (最大3回)	あり (タイブレイク戦後)

上表の詳解については下記のとおり。

【本大会の全ての試合の適用について】

(決勝戦ルールについて)

本大会の決勝戦は代表順位決定戦となるため、**関西連盟大会規定の決勝戦ルールは適用しません。**
(時間制やコールドゲームの廃止、延長戦の採用やタイブレイクの時間無制限等))

(試合成立ならびに正式試合)

正式試合は7イニングとし、5回裏の攻撃完了を持って試合成立とする。
試合は時間制を採用し、試合開始から2時間を超えて新しいイニングには入らない。

※ 但し、以下の場合は例外とする。

- 1 試合成立(5回完了)までは、2時間を超えても試合を行う。(但し、5回裏の攻撃中、後攻チームがリードしている際に2時間を経過した場合は、試合成立に関わらず試合を打ち切る。)
- 2 後攻チームが攻撃中、後攻チームがリードしている際に2時間が経過した場合は、その時点で試合を打ち切る。

(コールドゲーム)

4回10点差 または 5回7点差。

(タイブレイク)

試合開始から2時間または試合成立(5回完了)ならびに正式試合(7回終了)を完了し、**同点の場合**は次の回から最大3回のタイブレイク戦に入ります。

!重要! タイブレイク戦に入った時点でタイムカウントは止まります (時間制の適用外)

- ・ **タイブレイク戦**は上記条件成立後、**同点の場合は必ず適用**します。(2時間超えていても必ず実施)
例: 5回終了後、2時間を経過し同点の場合は、6回から最大3回タイブレイク戦を行う。
6回終了後、2時間を経過し同点の場合は、7回から最大3回タイブレイク戦を行う。
7回終了後、同点の場合は、残り時間に係なく、8回から最大3回タイブレイク戦を行う。
- ・ タイブレイク戦を行っている途中に**2時間を経過しても、途中で打ち切りません。**
- ・ 最大3イニングのタイブレイク戦を戦い、それでも同点の場合のみ、両チームの最終メンバー9名ずつにて抽選決着を行います。



【サスペンデットゲーム（特別継続試合）について】

降雨などにより、試合の途中で中止された場合、特別継続試合を適用します。

（適用するケース）

- ・ 正式試合（5回完了）になる前に中止になった場合。
- ・ 正式試合成立後、7回を完了するまでに、残り時間がある場合。

（特別継続試合のルール）

- ① 中止となった元の状態から継続するため、元の試合で交代した選手は出場できない。
- ② 監督・コーチの交代は認めるが、試合前に大会本部へ変更メンバー表を提出すること。
- ③ 投手の投球回数制限はそのまま生きる（リセットされない）
※ 運営に都合により、試合が翌日に行われない場合でも投球回数はリセットされません。
- ④ 残り時間は元の試合の経過時間から引き継ぎ、合算で2時間とする。
- ⑤ 特別継続試合の日時、球場、審判員は大会本部にて決定する。

注1) 特別継続試合は、原則として、翌日の第一試合に割り当てられます。

注2) 正式試合成立後（5回完了後）に、点差があるゲームで中止となった場合は、リードしているチームが勝利となり、特別継続試合は適用されません。

注3) 試合中止の判断は、審判員、大会役員、球場責任者の協議判断によるものであり、当該チームが意見を申し出ることはできない。（日没の場合も含む）